

学科 学年	2年全	科目 分類	国語 Japanese	講義 必修	H20 通年 2履修 単位	学習教育 目標 D	担当	大石加奈子 OISHI Kanako
概要	21世紀の複雑化するコミュニケーション社会に対応していくため言語能力の基礎を養成する。情報化社会に生きる現代人として必要な論理思考力や表現力を無理なく高めていく。							
科目目標 (到達目標)	(A) 広い視野から社会を理解する能力 (B) 工業技術を学ぶうえで基礎となる知識・能力 (C) 国際的に通用するコミュニケーション能力の基礎及び異文化を理解する姿勢 (D) 積極的に新しい知見を求め、様々な手段を通して必要な知識を収集する能力 (E) 社会で活躍できる心身の健康を増進していく力及び豊かな感性と表現力							
教科書 器材等	教材：プリント配布 機材：ヴィジュアルプレゼンター パソコン プロジェクター							
評価の基準と 方法	適宜、作文を課す。定期試験を行う。定期試験の平均成績を80%、ディベート・プレゼンテーションなどの演習に対する積極姿勢を20%として評価する。							
関連科目	文学特論							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		国語を学ぶ意義と目的について 論理的な話し方の基本練習						
第2回		聴き方を学ぶ 積極的傾聴法の練習						
第3回		論理的な文章の書き方の基本を学ぶ						
第4回		ロジカルプレゼンテーションの基本を学ぶ ナンバリングとラベリング						
第5回		ディベートを行う意義と方法 試合準備						
第6回		ディベートの試合 前半 (基礎)						
第7回		後半 (基礎)						
第8回		ディベートの試合の準備						
第9回		試合 前半 (実戦)						
第10回		試合 後半 (実戦)						
第11回		文章の要旨をまとめる練習						
第12回		図書館の利用方法を学ぶ 読書マップを書く						
第13回		課題文型小論文を書く 1						
第14回		課題文型小論文を書く 2						
第15回		課題分型小論文を書く 3						
第16回		PBL方式による演習についての説明						
第17回		前年度制作されたスライドから学ぶ 研究グループを決める						
第18回		ファシリテーションのための基本ルールを決める						
第19回		研究テーマに関する理想(目標)を明らかにする						
第20回		取り上げるテーマに関する現在までの状況を調べる						
第21回		取り組んでみたい、現状の問題点を見つける						
第22回		現状の問題の解決策・得られる利益を考える						
第23回		解決策実現のためのステップを考える						
第24回		プレゼンテーションのシナリオ作成と画面のラフスケッチ						
第25回		問題解決型のスライドをロジカルに組み立てる						
第26回		発表練習 ノンバーバル・トレーニング						
第27回		発表練習 バーバル・トレーニング						
第28回		デジタル・プレゼンテーションを行う 1回目						
第29回		デジタル・プレゼンテーションを行う 2回目						
第30回		PBL方式による演習 全体の振り返り						
オフィス アワー		昼休みおよび放課後						
授業アンケート への対応		社会ですぐに役立つ授業内容の充実						
備考		質問はメールでも受け付ける oishi@numazu-ct.ac.jp						
更新履歴		20080310新規						